

長津田地区

長津田地区別計画推進委員会

地域

長津田1～7丁目、長津田町、いぶき野、
長津田みなみ台1～5丁目、6・7丁目の一部

緑区の最西端・最北端に位置し、南北に広い地区です。西は東京都町田市、北は青葉区、南は瀬谷区、南東は旭区に隣接しています。区内で最も広く、人口、世帯数ともに最大となっています。

近年、地区の東西を貫いている国道246号線東側、長津田みなみ台の大規模開発に伴い、大型商業施設、大規模マンション等が増加し、転入者が増加しています。また、駅北口地区市街地再開発により、都市型住宅等の整備も進められており、駅周辺に保育施設が多くあります。

<主な関連施設>

最寄駅：長津田駅（JR横浜線・東急田園都市線・こどもの国線）

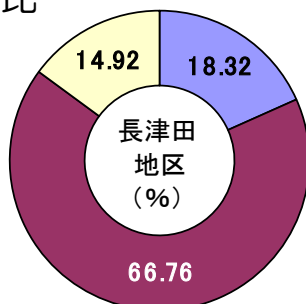
震災時避難場所（地域防災拠点）：いぶき野小学校、長津田小学校、長津田第二小学校、田奈中学校

地域ケアプラザ等：横浜市長津田地域ケアプラザ

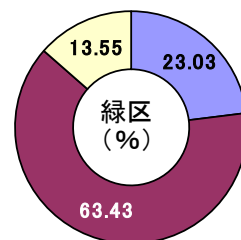
<年齢区分別人口>

平成29年(2017年)9月末

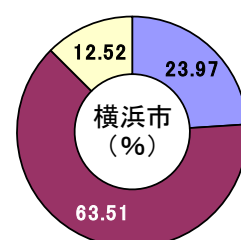
人口比



75歳～	3,349人
65～74歳	3,528人
15～64歳	25,053人
6～14歳	3,329人
0～5歳	2,269人
合計	37,528人



75歳～	19,961人
65～74歳	21,565人
15～64歳	114,379人
6～14歳	15,259人
0～5歳	9,172人
合計	180,336人



75歳～	436,885人
65～74歳	458,921人
15～64歳	2,373,525人
6～14歳	286,996人
0～5歳	180,967人
合計	3,737,294人

地区別計画推進委員会の開催状況

注) 長津田みなみ台7丁目のデータは、新治西部地区・十日市場団地地区に集計しています。

第1回

平成29年7月8日
13:30～15:00

長津田スカイハイツ第2集会所
～障がいのある方とその家族が安心して長津田で暮らし続けられるために～
・当事者の話を聞いて意見交換

通信No.13 発行

第2回

平成29年12月9日
13:30～15:30

長津田スカイハイツ第2集会所
・長津田地区の各団体活動アンケートと地区の概況から、目標・課題ほか意見交換

通信No.14 発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成29年度地区別計画推進状況



長津田地区



～向こう三軒両隣～ ともにささえあう
福祉の街 長津田 を目指して！

長津田地区では、『地域情報の発信と共有』『若い人も高齢者も活躍できる地域づくり』『日頃の見守りから「いざ」という時の支えあい』『認知症の人も障がいのある人も、その家族も暮らしやすい地域づくり』をすすめることを目標に、活動に取り組んできました。

「見守り」に関する取組

新聞販売店と自治連合会等の協定から始まった「長津田ささえあいネット」の構築は、協力事業者に、介護保険事業所が加わりました。

続いて登録を希望する事業者もあるため、新規参加のルールづくりの検討を重ねています。

さらに、第3回よこはま地域福祉フォーラムでは、「向こう三軒両隣企業とつながる見守りの輪」と題して、見守り体制の構築について発表を行いました。



（写真：「第3回よこはま地域福祉フォーラム」の様子）



（写真：「地区別計画推進委員会」でのグループワークの様子）

「認知症」に関する取組

認知症の方や家族、介護者の思いを知る機会及び地域のなかでの支え合いを考える機会として、「認知症になっても安心して暮らすための映画上映会」や「パネルディスカッション」を実施し、認知症についての理解を働きかけました。



（画像：「認知症講演会」の案内）

「障がい理解」に関する取組

障がいのある方への理解の推進については、障がいのある息子さんとの生活のなかで感じてきたことを、緑区心身障害児者福祉団体連絡協議会会長にお話しいただき、地区内の小・中学校の校長先生と地区別計画推進委員とで、グループワークを行いました。

長津田地区 地域福祉ネットワーク

長津田ささえあいネット

認知症になっても
安心して暮らし続けられる

ふくしのまち

福祉の街 長津田

ながった

長津田地区 向こう三軒両隣 共にささえあうための地域づくり推進委員会（長津田新聞社・長津田地区社会福祉協議会・長津田地区自治会連合会・長津田地区民生委員児童相談所）

長津田地区別計画推進委員会



長津田地区別計画推進委員会
平成29年9月発行 第3期 No.3 (通算 No.13)

長津田地区別計画推進委員会通信

「みどりのわ・ささえ愛プラン」長津田地区別計画 長津田地区の各地域の特性を活かした取組を進めましょう！

平成29年7月8日(土) 13時30分～15時15分
長津田スカイハイツ第二集会所において、「第1回みどりのわ・ささえ愛プラン長津田地区別計画推進委員会」を開催し、みどりのわ・ささえ愛プラン長津田地区別計画の推進に向け話し合いを行いました。
地域の皆さん、是非ご覧ください！



◇ 第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」 ◇

誰もが身近な地域で安心して暮らしていくために、身近な地域の福祉保健に関するさまざまな課題について、区民、事業所、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、平成28年から平成32年度までの第3期の計画が始まっています。

今回の推進委員会では、長津田地区で、まちの特性や課題などについて話し合いながら策定した「長津田地区別計画」に掲げた4つの目標のうち目標4を中心テーマとし、緑区心身障害児者福祉団体連絡協議会会長のお話の後これからの取組について意見を交換しました。

詳しくは裏面をご覧ください

第3期(平成28年から平成32年の)長津田地区別計画の目標

- ◆目標1 地域情報の発信と共有をすすめます
- ◆目標2 若い人も高齢者も活躍できる地域づくりをすすめます
- ◆目標3 日頃の見守りから「いざ」という時の支えあいにつなげます
- ◆目標4 認知症の人も障がいのある人も、その家族も暮らしやすい地域づくりをすすめます

【平成29年度長津田地区別計画推進委員】(五十音順、敬称略、○:委員長)

秋葉政敏、秋山博昌、市木 智子、井上孝男、○井上敏正、井上宏子、大瀧正春、岡部茂男、岡部豊、荻野邦夫、栗山孝子、小泉幸三、小林由美子、近藤光男、佐塚保恵、佐藤英一、志田久男、鈴木和雄、鈴木勝、沼尾礼子、原田ますみ、正田文賢、福田幹男、藤野正義、本所敏江、前田寛、松方ひとみ、湯浅政一、横塚寛、横塚靖子、渡口博

【オブザーバー】(五十音順、敬称略)

柳下睦子、山根淳一、鷺山龍太郎



第1回長津田地区別計画推進委員会で話し合われた内容をご紹介します！



今年度は、認知症への取組に加え、
障がいのある方の理解について取り組みました。

「障がいのある方とその家族が 安心して長津田で暮らし続けられるために」

井上 敏正委員長より、今回は、「障がいについて知り、理解を深めていきたい。」という主旨説明と、そのために、緑区心身障害児者福祉団体連絡協議会会長の市木 智子委員が障がいをもつ子の親として感じてきたこと等のお話がされることについて紹介がありました。

《障害者の親として何がして欲しくないか》

①健全者の子育て経験からくるアドバイス

（理由：障害児の子育てには当てはまらない、親はアドバイスを聞くゆとりがない、遠まわしにダメな子扱いされているように感じる）

②関わろうとしていろいろと子供に話しかけたりする。

（理由：情報が過多になり子供が混乱し不安定になる、親子共に疲れてしまう）

《障害児の親として何をしたいか》

①やさしい気持ちで見守り

（理由：子供のありのままを受け入れてくれていると感じる、親が他人の目を気にせず過ごせる）

②一言のあいさつ・声掛け（理由：親も本人も、無視をされているわけではないと感じられる）

③緊急時の手助け

④不測の出来事が起こったことを察知してもらえる事

⑤障害児者を見かけたとき、周囲とのトラブルが生じていないか、見守り

《まとめとして》

障害児者の親の孤立化を防ぐ方法があると良い。

親は孤独だと感じているので、相談できる場があれば良い。

理解と支えがあれば親もゆとりができ、親も子供も成長できる。

市木委員のお話しの後、**「関係者」と、障がい者」、「家族支援者」と、障がい者**について4グループに分かれて話し合いをしました。

次のような意見がありました。

- ・日常的なあいさつが大事。興味本位にならないようにする。
- ・保護者が障がいがあることを話せるような関係づくりが大事。
- ・自治会としては、できるだけ障がい者のご家族が参加できるような場をつくる。
- ・地域でみんながつながることが大事。声を掛けあい理解することで、障害の有無に関わらず、みんなが安心して暮らせるまちづくりにつながる。
- ・愛をこめて、見守る、顔見知りをつくる。あいさつをする（誰でも基本、やりましょう！）
- ・学校としては、障がいのある子の相互理解、相手を思う気持ちを育てる教育を行っていく。



井上 敏正委員長より次のようなまとめがされました。

長津田はもうすぐ人口4万人になる。全員が同じではない。
障がいのある子を持つ保護者もいる。幸せな方も苦労している方もいます。障がいの有無に関わらず見守っていける地域にしていけると良い。

長津田地区の小・中学校の校長先生も出席しました！



<連絡先>

長津田地区別計画推進委員会事務局 緑区地域振興課内 TEL：930-2311



長津田地区別計画推進委員会
平成30年2月発行 第3期 No.4 (通算 No.14)

長津田地区別計画推進委員会通信

「みどりのわ・ささえ愛プラン」長津田地区別計画 長津田地区の各地域の特性を活かした取組を進めましょう！

平成29年12月9日(土) 13時30分～15時30分
長津田スカイハイツ第二集会所において、「第2回みどりのわ・ささえ愛プラン長津田地区別計画推進委員会」を開催し、みどりのわ・ささえ愛プラン長津田地区別計画の推進に向け話し合いを行いました。
地域の皆さん、是非ご覧ください！



◇ 第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」 ◇

誰もが身近な地域で安心して暮らしていくために、身近な地域の福祉保健に関するさまざまな課題について、区民、事業所、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む地域福祉保健計画が「みどりのわ・ささえ愛プラン」です。

現在、平成28年から平成32年度までの第3期の計画が始まっています。

今回の推進委員会では、長津田地区が暮らしやすい、住んでみたい、住み続けたいと思える街になるために、長津田地区の人口や高齢者数、要介護者数等のデータとアンケートの結果を長津田地区別計画推進委員で共有した後、4グループに分かれて「長津田地区別計画」に掲げた4つの目標の中から一つ選び、現状や課題・解決策や具体的な行動についての意見交換を行いました。

詳しくは裏面をご覧ください。

第3期(平成28年から平成32年の)長津田地区別計画の目標

- ◆目標1 地域情報の発信と共有をすすめます
- ◆目標2 若い人も高齢者も活躍できる地域づくりをすすめます
- ◆目標3 日頃の見守りから「いざ」という時の支えあいにつなげます
- ◆目標4 認知症の人も障がいのある人も、その家族も暮らしやすい地域づくりをすすめます

【平成29年度長津田地区別計画推進委員】(五十音順、敬称略、○:委員長)

秋葉政敏、秋山博昌、市木智子、井上孝男、○井上敏正、井上宏子、大瀧正春、岡部茂男、岡部豊、荻野邦夫、栗山孝子、小泉幸三、小林由美子、近藤光男、佐塚保恵、佐藤英一、志田久男、鈴木和雄、鈴木勝、曾根秀幸、沼尾礼子、原田ますみ、疋田文賢、福田幹男、藤野正義、本所敏江、前田寛、松方ひとみ、湯浅政一、横塚寛、横塚靖子、渡口博



長津田地区のデータ

抜粋

※平成29年3月現在

- 人口 39,516人 世帯数 17,583世帯
- ・長津田地区の人口は10年間で3,000人増えており、緑区の人口増加率の半分を占めている。
- 65歳以上人口 7,453人
- 要介護認定者数 1,307人
- 高齢者単身世帯数 1,943世帯
- 高齡者のみ世帯数 1,589世帯
- 認知症の方の数 約700人



各グループが話し合った目標

- Aグループ：目標4
- Bグループ：目標2
- Cグループ：目標2
- Dグループ：目標1、2

意見交換内容の紹介

Aグループ

- 現状・課題
 - ・認知症と思われる方が増えてきた。
 - ・障がい者の方や認知症の方等への理解に差がある。また、どこまで踏み込んでいいか難しい。
- 解決方法等
 - ・当事者だけでなく家族にも周囲がサポートすることが大事。
 - ・認知症や障がいへの理解を深める機会を地域で地道につくる。

Bグループ

- 現状・課題
 - ・自治会内で若い人を取り込んでいくのは非常に難しい。
 - ・介護者をサポートするつどいの場を設けても参加できない場合がある。
- 解決方法等
 - ・ネットワークを持っている人に参加してもらおうと広げるのではない。
 - ・自治会活動を活性化するプログラムを若い人と一緒に作る。

Cグループ

- 現状・課題
 - ・自治会で行っている事業は基本的には自治会員だけを対象としている。
 - ・若い人はお祭りには参加するが、防災訓練にはあまり参加しない。
- 解決方法等
 - ・将来的には自治会もホームページ等があると良い。
 - ・自治会員でない友だちを連れて来たり、将来的には長津田内のどこの親子サロンでも参加できるようになると良い。

Dグループ

- 現状・課題
 - ・このような会議をしていることがどこまで住民に伝わっているのか。地域情報の発信・共有を進めよう、もっと広報する必要がある。
- 解決方法等
 - ・「こども新聞」を作ってはどうか。地域と学校が連携し、こどもに作ってもらおうと親も見る。それを通して活動を広めることができる。



井上 敏正委員長より次のようなまとめがされました。

いつも決まった人たちがこのような良い話をしているので、連合定例会の場で話ができ、他の会長にも伝えられると良いと思う。

<連絡先> 長津田地区別計画推進委員会事務局 緑区地域振興課内
TEL: 930-2311

こども新聞発行の実現に向けて検討中！

